

下馬橋は比較的新しいが、交差点の角にある下馬橋を示す石碑が時代を感じさせる

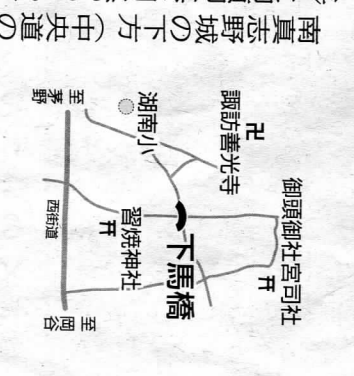
南真志野の習焼神社の筆頭祭神は建御各方の第三御子神の洲羽若彦である。神社の南側には括れてしまった夫婦桂の大きな切り株がありそこに若い芽が伸びている。脇の野明川に沿って登ると鎌倉うか？更に中央道を越え山に登ると南真志野城跡があるので、その屋敷跡というのが有力だろう。橋は比較的新しいが、交差点の角にある下馬橋を示す石碑は時代感からなにかもしれない。時代からなにかもしれない。を感じる。鎌倉道を横切り更に登ると、中央道の手前に畑が広がる。その畑と周辺の住宅を含め南北約130m、東西約140mが「御屋敷遺跡」である。宮坂武氏著「図解山城探訪第一集諏訪史郎編」の図には「さいの神通り」と「御坪石」がある。さいの神通りは残っているが、御坪石という庭石はもう見当たらない。市の遺跡発掘調査報告書によ

ら「御屋敷遺跡」である。宮坂武氏著「図解山城探訪第一集諏訪史郎編」の図には「さいの神通り」と「御坪石」がある。さいの神通りは残っているが、御坪石という庭石はもう見当たらない。市の遺跡発掘調査報告書によ

ら「御屋敷遺跡」である。宮坂武氏著「図解山城探訪第一集諏訪史郎編」の図には「さいの神通り」と「御坪石」がある。さいの神通りは残っているが、御坪石という庭石はもう見当たらない。市の遺跡発掘調査報告書によ

ら「御屋敷遺跡」である。宮坂武氏著「図解山城探訪第一集諏訪史郎編」の図には「さいの神通り」と「御坪石」がある。さいの神通りは残っているが、御坪石という庭石はもう見当たらない。市の遺跡発掘調査報告書によ

「さくら」諏訪塾 ⑤ 建御各方が家臣の屋敷跡？



南真志野城の下方(中央道の)上に御頭社宮司社がある。夏至には藝科山から日が昇り、その中間に習焼神社と御屋敷跡が一直線上に並ぶようなので、確認に行つたのだが曇天で確認できず、残念！

詳しい場所などの問い合わせは諏訪塾事務局(電話070-83323-2107)へ。

「さくら」諏訪塾の冊子ができました。

- ・諏訪市観光案内所(JR上諏訪駅内)
- ・れすとらん割烹いずみ屋(諏訪市諏訪)
- ・すわ大昔情報センター(諏訪市博物館内、31日までは休館)

で販売中です。



今回の筆者

一級建築士。まち歩きイベントの講師を務める